



竹中芳弘 議員

## 国産材利用による公共建築物の木造化推進を

### 耐震・耐火性能で3階建木造校舎可能に！

町長 日本は山々は植林奨励によって毎年8000万m<sup>3</sup>の木材が増えつつづけている、にもかかわらず国産材の供給量は2010年には7000万m<sup>3</sup>と30%減少し、国産材の自給率は18%まで減少した。政府は3年前に森林、林業再生プランを策定、国産材の木材自給率を50%に目標設定し、国産材利用活用の法律を2010年に作り公共建築物にも広く活用を促しているが考えはどうか。

町長 従来の切り捨て間伐からチップ材や県産材としての間伐材の利用に変わってきている。八幡小学校の内装材には面積の60%、約3000m<sup>2</sup>超の面積に木材が使われる。温知小、養基小、温知保育園、道の駅池田温泉においても県産材利用で補助金ももらってやってきた。

第5次総合計画で町立片山保育園の改築（建替）計画があるが、園児が学びやすく、自然の木の香り、やわらかな感触の木造建築が最適だと思う。自然とマッチした園舎の建設を望むがどうか。

町長 平成28年から29年を考えているが、周辺保育園の事も考えて十分検討する必要がある。



老朽化が目だつ片山保育園・園舎

## 倒壊の危険がある 空き家対策について

### 町民安全の為 「条例の制定」を

町には30年以前に建築された建物「旧建築基準法」の建物が3350戸以上、約50%半分以上を占める。所有者が家を離れて空き家となっている建物もあり、地震や台風の自然災害で倒壊して、周辺住宅に被害を与える事も考えられる。

無人化している建物には危険な箇所や状態を知らせる指導システムを作っておく必要があると思うがどうか。

町長 町では現在4件の対象建物があり管理指導している。景観条例の作成を検討していて、条例の中に景観の面から検討していく。

## 町施設「霞間ヶ溪さくら会館」の運営について

### 施設をPRして もっと活用を！



ここから池田の眺めは最高  
（霞間ヶ溪さくら会館）

霞間ヶ溪公園にあつて「寺岡山荘」と呼ばれた建物で、昭和42年に東神電工（株）の社員研修用に建設された建物です。平成12年に町に寄贈されて学習の場や、研修の場として宿泊もできます。

町長 昨年は590人の利用者がありその内、宿泊研修者は99人でした。建設後45年が経過して建築物の耐力度が気になります。町長は建築物の耐震診断の考えと今後の運営についての様にお考えですか。

町長 耐震診断の費用80万円、とり壊し費用約600万円などを考え今後二年から三年かけて判断する。

町長 眺めがすばらしい。利用者をもっと増やして、料金も見直す中で存続させたいと思うがどうか。

町長 町の経営も十分考え、東神電工さんとも相談して決めたい。